

## 第63回北日本産科婦人科学会 総会・学術講演会

平成27年9月5日(土)・6日(日)にかけてザ・セレクトン福島(福島県福島市)にて、第63回北日本産科婦人科学会 総会・学術講演会が開催されました。当会は福島県立医科大学産婦人科 藤森敬也教授を会長として開催されました。素晴らしい学術講演と討論により、盛会のうちに終了致しました。当大学および関連病院から16題の一般演題、さらに4名の先生が座長をつとめられました。

一日目には、八重樫伸生 教授が会長講演の座長を勤められ、福島県立医大産婦人科の藤森敬也教授より東日本大震災後の福島県の妊産婦の現状について御講演があり、震災の直接的被害のみならず放射線災害、それに伴う風評被害に未だに苦しめられている事など報告されました。

また、岡村州博 名誉教授がランチョンセミナーの、井原基公 助教が一般演題の座長を務められ、こちらも非常に活発な討論を遂行されました。

当大学の高橋聡太先生、また、田上可桜先生・清水孝規先生(石巻赤十字病院)、田中恵子先生(大崎市民病院)、和形麻衣子先生(宮城県立こども病院)、横山沙織先生(岩手県立中部病院)および高橋司先生(八戸市立市民病院)が一般演題を発表され、ともに活発な討論が行われました。

当日の講演会終了後には、ホテル福島グリーンパレスに於いて総懇親会が盛況に開催されました。

二日目には、徳永英樹 助教が一般演題の座長を務められ、さらに当大学田中宏典先生、宮原周子先生、西堀翔子先生、また、富田芙弥先生(仙台赤十字病院)、丸山真弓先生(山形県立中央病院)、齋藤淳一先生(大崎市民病院)、熊谷祐作先生(八戸市立市民病院)、西本光男先生(岩手県立中部病院)、および桃野友太先生(国立病院機構仙台医療センター)が一般演題を発表され、ともに活発な議論が行われました。

